

ルクセンブルク経済・金融情勢（2013年9月前半）

1. 経済

- 世界経済フォーラムが発表した2013年の国際競争力ランキングにて、ルクセンブルクは昨年に続き148カ国中22位。項目別には、人材の誘致力といった項目で高い順位につけたが、財政均衡、政治的安定、マクロ経済環境といった項目では昨年より順位の低下が見られた。（4日付統計局プレスリリース）
- 食品検査機関であるユーロフィン社（本社当国）、アジア太平洋地域における拡大戦略の一環として、同分野にて豪及びニュージーランドに多くの研究所を有するAgrisearch Service社（英に本社所在）の株を81%取得。（5日付ヴォルト紙電子版）
- フランス人2名が共同経営する、ルクセンブルクにてブティック運営を行う会社が相次いで倒産したことにより、市街地を中心に所在する約20店舗のブティックが5日に一斉に閉鎖。6日には閉鎖した店舗の約60人の従業員が集い、ルクセンブルク独立労働組合連合（OGBL）に対し給与未払い等を訴えた。（6日付及び13日付ヴォルト紙電子版）
- 国連の世界幸福度ランキングにおいて、ルクセンブルクは156カ国中19位。1位はデンマークで、当国の近隣国である仏及び独はそれぞれ25位と26位であった。（9日付ヴォルト紙電子版）
- オーストリア系のドラッグストアであるDayli、ルクセンブルク及びベルギーの店舗閉鎖を決定。ルクセンブルクでは28店舗が全て閉鎖となり、約120人が職を失うこととなる。（11日付ヴォルト紙電子版）
- 8月のインフレ率は年率換算で先月と同じ1.8%。（11日付統計局プレスリリース）
- 2013年第2四半期の工業生産は前期比1.3%増加であるが、前年同期比では▲3.1%。鉄鋼部門では前期比▲4%の生産低下が見られたが、その他の部門では概ね増加傾向にある。（11日付統計局プレスリリース）

2. 金融

- ルクセンブルクの人民元による決済額が過去12ヶ月で86%増加。2013年7月には人民元決済額においてユーロ圏で仏に次いで第2位、世界第8位（中国及び香港を除く）となった。（3日付ルクセンブルク銀行協会）

3. 政府

- シュナイダー経産相、当国中北部のディーキルシュ市に所在する鉄鋼メーカーであるLindab S. A. 社（本社スウェーデン）の軽量化鋼を用いた建物に関する研究プロジェクト支援に政府を代表して4日に署名。（4日付経産省コミュニケ）
- ニコラ・シュミット労働相、5日にポーランドのクリニカにて開催の経済フォーラムに出席。（4日付労働省コミュニケ）
- シュナイダー経産相、硬質素材製品メーカーである当国CERATIZIT社の投資計画支援に政府を代表して11日に署名。同計画は、当国南西部のマメール市に所在する同社のエネルギー最適化に関するものである。（11日付経産省コミュニケ）
- フリーデン財務相、13日及び14日にユーログループ及び非公式E C O F I Nに出席。（11日付財務省コミュニケ）
- シュナイダー経産相及びマルコ・シャンク持続的開発副大臣、ルクセンブルク商工会議所、自治体及び民間企業が合同で立ち上げた研修センタープロジェクト「Learning Factory」の発表の場に12日に出席。（12日付経産省コミュニケ）

※ 当国政府機関の公表資料や各種報道等の公開情報を取りまとめたもの。